

JCI - TC101A

「微破壊試験を活用したコンクリート構造物の健全性診断手法調査研究委員会」  
第6回 全体会議 議事録(案)

議事録担当:松林

日時: 2011年12月16日(金) 15:00~17:00

場所: JCI 12F 会議室

出席者: 二羽委員長, 安田副委員長, 堤幹事長

(幹事) 岩波

(委員) 岡本, 横沢, 森濱, 鎌田, 吉田, 小林, 谷村, 小川, 浅野, 松林

以上14名(敬称略)

資料:

- 6-0 第6回全体会議 議事次第
- 6-1 第5回全体会議 議事録(案)
- 6-2 委員会報告書目次(案)
- 6-3-1 WG1 第7回議事録(案)
- 6-3-2 微破壊試験を用いた建物の健全性評価に向けて
- 6-3-3 微破壊検査とどのように結びつけていくか
- 6-3-4 ダム点検チェックシート(改訂版)
- 6-3-5 各事業者の点検要領の概要(A3縦資料)
- 6-4-1 WG2 第6回議事録(案)
- 6-4-2 11月29日 WG2 資料(2.計測における信頼性の問題)
- 6-4-3 11月29日 WG2 資料(N.微破壊検査の適用方法の現状)
- 6-4-4 非/微破壊試験法の各手法の技術完成度の現状に関するレビュー(案)
- 6-4-5 非/微破壊試験法の評価対象の現状に関するレビュー(案)
- 6-5 WG3 報告書(素案:20111216版)
- 6-6 微破壊委員会 WEB アンケートについて
- 6-7 WG4 第2回議事録(案)
- 6-8-1 JCI 川上氏からの確認事項
- 6-8-2 報告会参加募集案

議事:

1. 委員長挨拶(二羽委員長)
2. 第5回全体委員会議事録の確認(松林)  
資料6-1に基づき第5回全体委員会の議事録の確認を行った。
  - 了承された。

### 3. 全体目次案の説明(堤幹事長)

全体の章立てとその記述内容,各WG活動との対応について説明があった。(堤幹事長)

- 基本的には資料6-2の章立てを想定して執筆を進めることとする。
- と の章の名称は,違いが分かるような名称を再考した方がよい。(鎌田主査)
  - 【 】コンクリート構造物の健全性診断技術に関する現状と課題
  - 【 】コンクリート構造物の維持管理に関する現状と課題

### 4. 各WG活動の報告

#### 4-1.WG1の報告

・WG1議事録(資料6-3-1)により,WG活動の概要の報告がなされた。(堤幹事長)

現行の維持管理マニュアル等では,検査値が規定されていないことや,手法のみ示されていて活用方法が示されていないという課題がある。

・資料6-3-2により,建物の健全性評価を行う上で必要となる考え方に関する整理状況の説明があった。(堤幹事長代理説明)

・資料6-3-3により,社会基盤の長寿命化に対する社会的要請と微破壊検査を結びつけるための検討状況について報告があった。(横沢委員)

・資料6-3-4により,ダムの点検を対象とした維持管理のチェックシートの活用例の紹介があった。(浅野委員)

・資料6-3-5により,NEXCO,鉄道,港湾空港,電力における維持管理要領の整理状況の説明があった。(堤幹事長)

首都高や東京メトロの情報も追加していく予定。

#### 4-2.WG2の報告

・WG2議事録(資料6-4-1)により,WG活動の概要の報告がなされた。(鎌田主査)

・資料6-4-2により,測定の信頼性に関する用語および微破壊検査における測定値の信頼性が検討された事例に関する整理状況の説明があった。(小川委員)

・資料6-4-3により,破壊試験や非破壊試験との比較による微破壊検査の有用性の整理状況に関する説明があった。(小川委員)

・資料6-4-4により,非/微破壊試験法の技術完成度の現状に関する整理状況の説明があった。(小林委員)

・資料6-4-5により,コンクリート診断士調査報告書A(2009)から見た評価対象の現状に関する整理状況について説明があった。(吉田委員)

#### 4-3.WG3の報告

・資料6-5により,WG3で実施している補修・補強事例の収集および分析状況の報告があった。(岩波主査)  
分析の部分については今後文章化を行う予定。

### 5.WEBアンケートの状況について

・資料6-6により,WEBアンケートの編集権限の現状および回答の概要について報告があった。(松林委員)

・JCI年次大会で収集した紙ベースのアンケート結果は全てWEBアンケートに入力が完了しており,回答総数は12月13日現在で117件である。

・報告書をまとめる上で必要な分析はWG2にてご対応頂きたい。

- 再度 web アンケートのお願いを行う(担当:堤幹事長)

## 6. WG4 の報告

- ・WG4 議事録(資料 6-7)により,報告書のまとめ方に関する WG4 における議論の状況について報告があった。
- 海外における事例について載せるのか。(岡本委員)  
岡本委員から情報を持っていそうな方にヒアリングして頂く。

## 7. 今後の予定

- ・資料 6-8-1 をもとに,今後のスケジュールの確認を行った。
  - 3月25日までに各 WG 内で修正を終えたものを準備する。
  - 各 WG 間の内容の不整合や不足事項についてチェックを行い,4月25日までに修正を終えた原稿を JCI に提出する。
  - 執筆要領については再度周知する。(堤幹事長)
  - 報告会参加募集の会告を3月から掲載する場合,1月末が原稿のリミットである。
- 
- ・資料 6-8-2 をもとに,6月1日に予定されている報告会の時間配分および講演者の選定について確認を行った。
  - 報告会は 13:00 からとし,半日で終わるように計画する(遠方からの聴講者に配慮)。  
各 WG 主査からの報告は 15 分ずつ(15 分×4),基調講演は 60 分,適用事例紹介は 30 分ずつ(30 分×4)を想定してプログラムを見直す。
  - 適用事例の紹介について,道路分野については二羽委員長から,鉄道分野については谷村委員から,港湾分野においては岩波幹事から,建築分野について濱崎委員からそれぞれ適切な方に講演を依頼する。
  - 適用事例の紹介ではなく,維持管理の実態や微破壊試験への期待でもよい。

### 【次回 主査・幹事会】

日時: 1月11日(水)10:00~12:00

### 【次回全体委員会】

日時: 3月13日(火) 10:00~12:00

以上